

科目名	法医学 I	担当者	山口 るつ子	部別	第一部	期間	前期	単位数	2

【関連するDP・CP】 (DP=ディプロマ・ポリシー:学位授与に関する方針) (CP=カリキュラム・ポリシー:教育課程の編成・実施に関する方針)	DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5	DP-6	DP-7	DP-8
	CP-1	CP-2	CP-3	CP-4	CP-5	CP-6	CP-7	CP-8
	○	○						

【授業の概要】
 法医学は「法律に関係のある医学的問題を研究し応用する学問」であり、医学領域では社会医学に属し、具体的問題を対象として社会活動をしなければならない立場にある。法医学では実務として司法解剖が重要であり、法学領域では刑法・刑事訴訟法などと関連する。また、民事関係でも生命保険・損害保険・損害賠償などが関連している。そこで刑事・民事・社会医学的事例を多く提示し、学生諸君に理解しやすいようにと計画する。

【授業の目的】(General Instructional Objective: GIO 一般目標)
 授業目的：法医学という学問分野が医学に属し自然科学を基礎としていることを理解し、社会における様々な事件事故に法医学が果たしている役割を理解することを目的とする。
 到達目標：法医学の基本的事項を修得し、回答できる。ただし医学生レベルまでは求めない。法医学の各事例について、それぞれ問題点を指摘できる。
 関連DP及びCP：法律学科1, 2 公共政策学科1, 3, 4

【履修条件】
 法学部学生（他学部学生の履修希望については、事前に相談のこと）

【授業方法】
 講義形式

アクティブ・ラーニングによる授業回の有無	無
アクティブ・ラーニングの形態	

【到達目標】(Specific Behavioral Objectives: SBOs 個別行動目標)

ルーブリック評価項目の内容	A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	A-6	A-7	A-8
		豊かな知識・教養に基づく高い倫理観				A-5 挑戦力		
		A-2 日本及び世界の社会システムを理解し説明する力				A-6 コミュニケーション力		
		A-3 論理的・批判的思考力				A-7 リーダーシップ・協働力		
		A-4 問題発見・解決力				A-8 省察力		
達成されるべき具体的行動					関連するルーブリック評価項目の達成レベル			
	A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	A-6	A-7	A-8
①	日本の検死制度・解剖制度について説明できる。	1	1					
②	人体の解剖生理、主要臓器の機能についてある程度理解している。	1	1					
③	死体現象、死後経過時間推定について、その困難さや法医学上の問題点をある程度説明できる。	1	1					
④	創傷の定義と種類、成傷器の推定について説明できる。また、頭部損傷の特殊性を理解する。	1	1					
⑤	窒息や溺水について定義と分類を説明できる。	1	1					
⑥	小児・成人の虐待について、定義や種類、問題点を説明できる。	1	1					
⑦	死後画像検査と死因究明におけるその役割、解剖との関連について説明できる。	1	1					
⑧	労働災害や孤立死などの社会問題と法医学の関連について説明できる。	1	1					
⑨	大規模災害や感染症パンデミックにおける法医学の役割を理解し、説明できる。	1	1					
⑩	刑事事件や再審請求事件における法医学の役割と現状・問題点に関して具体例を提示して論説できる。	1	1					

【成績評価の方法・基準・割合】		到達目標										評価方法別の比率(%)
成績評価方法	評価基準	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
試験(定期試験/授業内試験)	期末試験を行う。	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	40
小テスト等	授業毎に確認テストを実施する。	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	60
レポート等												
討論・発表等												
授業への参画度												
その他()												
その他()												
その他()												
到達目標別の比率(%)		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	100

【課題に対するフィードバックの方法】
確認テストの解答を公表する。

【教科書・参考書等】					
書名	著者名	出版社名	発行年	種別	必要度
NEWエッセンシャル法医学 第6版	高取 健彦 (監修)	医師薬出版	2019	参考書	推奨
死体格差-異状死17万人の衝撃-	山田 敏弘	新潮社	2021	参考書	任意
不自然な死因-イギリス法医学者が見てきた死と人生	リチャード・シェパード	大和書房	2022	参考書	任意
死因究明の制度設計 (刑事法研究 第23巻)	川端 博	成文堂	2023	参考書	任意
ケースから読み解く法医学	吉田 謙一	日本評論社	2023	参考書	任意
備考					

【オフィスアワー】
個別連絡により対応する。

【実務経験を活かした実践的教育について】	
担当教員の実務経験の有無	有 実務経験の内容 法医学執刀医、外科・救急医療の経験
実務経験に基づく実践的教育の内容	

【授業計画】※日程について、複数の曜日・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。

回数	テーマ	内 容	
1	法医学概論	法医学とは、その歴史、関連領域、法医鑑定、死因、死因の種類など。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などをWeb検索なども行いつつ確認しておく。	70分
	事後学修	確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。	170分
2	人体の構造・解剖・生理	法医学を履修するにあたっての人体の構造・解剖・生理についての基礎知識、人の死のメカニズムについて。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などをWeb検索なども行いつつ確認しておく。	70分
	事後学修	確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。	170分
3	死体現象	早期、晩期、特殊死体現象について、また死体現象に基づく死後経過時間および死因の推定の実際について。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などをWeb検索なども行いつつ確認しておく。	70分
	事後学修	確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。	170分
4	損傷総論	創傷（さず）の種類と鑑別、成傷機の推定、死因との関連について。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などをWeb検索なども行いつつ確認しておく。	70分
	事後学修	確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。	170分
5	損傷各論	創傷の種類と鑑別、成傷機の推定、死因との関連について。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などをWeb検索なども行いつつ確認しておく。	70分
	事後学修	確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。	170分
6	窒息1	縊頸・絞頸・扼頸の違いの解説、気道内異物の鑑定事例について。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などをWeb検索なども行いつつ確認しておく。	70分
	事後学修	確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。	170分

【授業計画】※日程について、複数の曜日・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。

回数	テーマ	内 容	
7	窒息2	溺水の所見、鑑別、日本で多い入浴死について。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などをWeb検索なども行いつつ確認しておく。	70分
	事後学修	確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。	170分
8	災害・公衆衛生的危機と法医学	自然災害や事故などの大規模災害、感染症のパンデミックなどの際の法医学の役割について。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などをWeb検索なども行いつつ確認しておく。	70分
	事後学修	確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。	170分
9	虐待	小児虐待事例の法医学的診断、臨床法医学などについて。 外部講師：千葉大学大学院医学研究院附属法医学教育研究センター助教 齋藤直樹先生	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などをWeb検索なども行いつつ確認しておく。	70分
	事後学修	確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。	170分
10	死後画像診断	死後画像診断の実務やその有用性、ピットフォールについてなど。 外部講師：千葉大学大学院医学研究院附属法医学教育研究センター講師 吉田真衣子先生	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などをWeb検索なども行いつつ確認しておく。	70分
	事後学修	確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。	170分
11	労働災害と法医学	労働災害に関連した外傷死・内因死の疫学や、その法医学的問題点。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などをWeb検索なども行いつつ確認しておく。	70分
	事後学修	確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。	170分
12	社会的に問題のある事例	法医解剖事例からみえる現代の社会的問題について紹介し、考察する。	
	この回の到達目標	法医学的な死因診断の考え方などについて事例をもとに自身で考察し、理解する。	
	事前学修	これまでの講義内容につき復習し、不明な点などをWeb検索なども行いつつ確認しておく。	70分
	事後学修	講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。	170分

【授業計画】※日程について、複数の曜日・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。

回数	テーマ	内 容	
13	法廷における法医学	専門家証人としての法医学者の役割やその実際、医学と法律にまつわる諸問題について。	
	この回の到達目標	本講義の内容についておおよそ説明できる。	
	事前学修	アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などをWeb検索なども行いつつ確認しておく。	70分
	事後学修	確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。	170分
14	期末テスト・まとめ	授業内期末試験を行う。	
	この回の到達目標	これまでの講義で得た知識の整理と定着。	
	事前学修	これまでの講義資料や確認テストの復習で知識の確認をしておく。	70分
	事後学修	講義資料などによる回答の振り返り。疑問に残る点を整理し、質問があればまとめておく。	170分
15	知識の総括	期末の知識確認テストの解説、これまでの講義内容に関する質問。	
	この回の到達目標	これまでの講義で得た知識の整理と定着。	
	事前学修	これまでの講義内容にたいし質問事項があれば整理しておく。	70分
	事後学修	講義の内容を今後の学習や社会問題の解決にむけて役立てるよう整理しておく。	170分